

東日本大震災ルーテル教会救援

Japan Lutheran Emergency Relief 【JLER】

ルーテル教会救援 現地活動 月次報告 No.8

2012年6月度 活動報告 (2012年7月27日発行)



東日本大震災で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。
またルーテル教会救援の活動にご理解・ご協力いただいている
皆さまに心より感謝いたします。



日本各地が台風の被害に見舞われた6月19日、石巻市街地でも避難警報が出ました。たくさんの方が避難し、不安な夜を過ごされました。震災による地盤沈下のため、普段から冠水している地域もたくさんあります。となりびと一同も、何事もないようにと祈る一夜でした。幸いJLERにご縁のある皆さまには被害はありませんでしたが、同じ石巻市内では被害が出たところもありました。最近続いている豪雨による被害に遭われた方には、心よりお見舞い申し上げます。これから台風シーズン本番。どうか被害がありませんように。6月の活動を報告いたします。



【となりびと】2011年の活動と今 ～救援活動開始から1年を過ぎて



2011年4月11日から始まったルーテルとなりびとの現地活動。1年前と今年の様子を比べ、改めて「あの日あったこと」に想いを馳せ、これからの支援について考えたいと思います。



昨年の支援活動と今年の支援活動は「静」と「動」で表現できると思います。



昨年の4月は泥かき作業などが主で、多くのボランティアさんが、多くの時間をかけて石巻に通いました。5月には、東松島市の小野市民センター避難所に畳の搬入などの作業をしました。6月には、仮設住宅に



生活用品セットを用意したり、プランターに花を植える作業をしました。

一方、今年の同じ時期には、仮設住宅でのお茶会が主な活動となりました。全国から寄せられる様々な物資は、仮設住宅にお住いの皆さんを大いに励まし、とても感謝されました。

仮設住宅にお住まいの方はこれからが難しい時期。支援の仕方も日々刻々と変化していきます。

「見える」支援から「見えない」支援へ、となりびとの支援の在り方も変化していきます。
(となりびとスタッフ 抱井)



【全国からのご協力】

お茶っ会のためのお菓子やお茶のご提供、バザーでの被災地関連商品の販売など、全国の皆さまのご協力に、改めて感謝申し上げます。6月は、日本福音ルーテル三鷹教会から、メッセージをいただきました。

6/24(日)の恒例の教会バザーに際して、女性会から「宮城の海産物の販売をしたい」という声上がり、焼き海苔・塩蔵わかめ各20袋を取り寄せ販売することができました。バザーに足を運んで下さった地域の方々にも、微力ながら被災地の復興支援をアピールすることが出来たことが何よりも喜びでした。

(三鷹教会牧師 李明生)

バザー販売品問い合わせ先: j-sasaki@jelc.or.jp



お茶っ会のお菓子は、地域の特産品や人気のお菓子が、話題作りにもなり、喜ばれています。送付をご検討の際は、まずはとなりびとまでご相談ください。



もうすぐ秋のバザーシーズン。ご注文は、早めにお願いたします。登米市の南方仮設で作成している『立ちあがレイ』のマスコット、石巻身体障害者"歩む会"の『幸せくるみ(ストラップ)』が人気です。

